

市農業賞受賞者を周知し、市農業をPRする考えは積極的に取り組む



石橋 義雄
(高志会)

議員 市農業振興のために、十和田市農業賞を受賞された方々の功績を広く周知し、PRする必要があると考ええるが。

農林部長 受賞者の業績を市のホームページ、マスコミ、農業機関紙等に広く取り上げていただくようPRし、農業者の元氣と励みになるよう、積極的に取り組んでいきたい

いと考えています。

議員 農業賞受賞者の協力を得て、グリーンツーリズムを推進する考えは。

農林部長 受賞者がグリーンツーリズムに関わる姿をマスコミ等で発信することは、旅行者の増加や、農業振興の底上げにつながると思います。このことから、機会をとらえて協力を依頼したいと考えています。



十和田市農業賞授与式から

議員 焼山地域の空き家等をアトリ工として若手芸術家に提供し、創作活動をしてもらい、アートを活用した地域づくりを行う考えは。

観光商工部長 焼山地域がアート作家にとつて、

魅力的な場所であるとの話を聞いています。今後、焼山地区町内会や温泉事業者等で構成する、奥入瀬渓流活性化協議会とも協議し、焼山地区での地域づくり展開の可能性を探っていききたいと考えています。

議員 行財政運営において、官民一体となった取り組みが必要である。市の幹部、商工会議所の役員、JAの役員、町内会の役員等で構成する市長直属の政策集団を立ち上げる考えは。

市長 これからの時代は市民と行政が一緒に取り組んでいくことが必要と考えています。これまでも、元気づくり会議を設置し、多くの方々から意見をいただきました。提言のありました政策集団については、どのようなものがよいか、多くの市民、事業者から意見を聞き、検討していききたいと考えています。



戸 来 伝
(柵の会)

議員 農業は十和田市の基幹産業だが、米余りによる減反政策や自由化による価格低迷に加え、TPP加盟問題により苦境に陥っている。市長が強く打ち出した農業所得の向上の状況は。

市長 農業所得の推移について、公表できる正式なデータはありません。しかし、公約実現のため、中山間地域等の農業生産活動を支援する事業の実施や、経営安定と食料自給率向上を目指した制度の活用をしています。また、十和田産品販売戦略室を設置し、販路拡大等に取り組んできました。これらのことにより、農業所得の向上に繋がっていると考えています。

議員 農業関係の補助事業について、農業者が

農業所得は向上したのか

さまざまな取り組みにより向上していると思う

補助を受けられるよう、市はきちんと指導するべきではないか。

市長 しっかりと進めていくよう、改めて指示していきます。

議員 奥入瀬川の風物詩である、サケの一本釣りの経済効果は。

農林部長 平成二十三年の実績は、参加者数六百七十九人、施設利用料収入二百三十九万円で、昨年度よりわずかにふえています。参加者のうち六割が市外から訪れており、宿泊者数もふえています。アンケート調査によると、宿泊や飲食による経済効果は、千二百万円ほどです。

議員 サケの一本釣りに関係する、県からの補助金が打ち切られるよう

だが、市として補助金を出す考えは。また、会場付近の県有地にトイレを整備する考えは。

農林部長 補助金については、関係団体と協議する必要があるため、現時点では示すことができません。トイレの整備については、土地の状況等の調査をしたいと考えています。



奥入瀬川の風物詩 サケ釣り